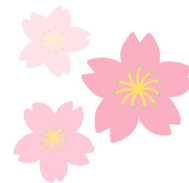


さくら



令和7年5月16日(金)

周到な準備で事に臨む



中間テストが終わりました。1年生にとっては初めての定期テストで緊張した人もいるかもしれませんね。

各教科のテスト結果が返ってきています。そこから、「できたこと」と「できなかったこと」を明らかにし、「できたこと」についてはより定着するように、「できなかったこと」については、それを克服するための振り

返りをしましょう。

さて2・3年生には、全校集会で「勝負はスタートする前に決まっている」という言葉を伝えたことがあります。この言葉は、何か事を起こすときの準備の大切さを表しています。いくら本番に強い人でも、準備が出来ていなければ成功に至らないことがほとんどです。次のような話があります。

アメリカの冒険家(飛行機乗り)にチャールズ・リンドバーグという人がいました。彼は、1927年にニューヨーク～パリ間の大西洋横断単独飛行に成功しました。

当時の飛行機には、現在のようにさまざまな情報を処理するコンピュータなんてありません。多くの人が無謀な挑戦だと言いました。しかし、彼は周到な準備をしてこの冒険に臨んだのです。

当時はレーダーがありませんでしたので、雨雲の正確な位置が特定できず、乱気流に巻き込まれる恐れもありました。そこで、彼は大西洋の天候について徹底的に調べました。また、季節風がどのように吹いているかなどについても詳しく調査しました。それをもとに綿密なルートマップを作成したのです。

また、機体を軽量化するために単座(一人乗り)にし、無線機や緊急用のパラシュートも搭載しませんでした。かくして、彼の大冒険は事故なく成功を収めたのです。

成功の裏には、事前の十分な準備がありました。今後、皆さんはたくさんの方にチャレンジしていきます。その時、成功を収めるためには、周到な準備で事に臨むということを忘れないでください。

学校ホームページで、日々の教育活動のようすを公開しています。どうぞ、本校ホームページを閲覧してください。

